

令和8年6月1日

葛生地区の皆様へ

佐野市長 金子 裕

葛生文化センターの今後のあり方について（お知らせ）

初夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、過日、葛生文化センターにおいて耐震診断を実施したところ、安全対策が必要とされる状況が確認されました。

このため、市では施設の改修や建替え等、今後のあり方について様々な方向性の検討をしてまいりました。

その結果、老朽化が進んでいること、工事における確実な安全性の確保を踏まえ、必要な機能を見直したうえで、現在の施設を解体し、新たな施設へ建替をする方向を現時点の優先的な方向性として整理をしたところです。

先日、葛生地区の町会役員、利用者等の関係者の皆様に対して、説明懇談会を開催し、優先方向性について説明を行いました。

このたび、葛生地区の皆様へも広くお知らせするため、現時点での優先方向性の概要について以下のとおりお知らせいたします。

今後につきましては、皆様からいただくご意見等も踏まえながら、市として施設整備の取組方針を決定してまいりたいと考えております。

皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

1 概要

《対象施設》 葛生文化センター（葛生東一丁目11番15号）

《今後の流れ》 取組方針決定・設計・解体・建替・開館

《期間》 設計着手から開館まで3～4年ほど要し、休館は2年程度となる見込みです。

《備考》 具体的なスケジュールやご利用案内におきましては、決まり次第お知らせいたします。

2 詳細 別紙 葛生文化センターの今後のあり方について

3 その他 ご不明な点があれば、下記の連絡先までお問い合わせください。

佐野市総合政策部財産マネジメント課

TEL：0283（20）3050

メール：smanagement@city.sano.lg.jp

葛生文化センターの 今後のあり方について

佐野市においては、佐野市建築物耐震改修促進計画に基づき、市有施設の耐震診断を行い、順次、耐震化を進めております。

令和5年度において葛生文化センターの耐震診断を行ったところ、安全対策が必要な状況であると確認されました。

当館については、建築からまもなく50年が経過し老朽化が進んでいることから、市内部で今後の施設のあり方について検討を進めているところであります。

つきましては、現時点において整理した方向性についてお知らせをし、ご意見等を踏まえながら、今後のあり方に関する取組方針の決定へつなげてまいりたいと考えております。

皆様のご理解、ご協力をお願いします。



【お問い合わせ先】

- 今後のあり方の検討内容に関して
佐野市総合政策部財産マネジメント課
TEL 0283-20-3050
E-mail smanagement@city.sano.lg.jp
- 葛生地区公民館に関して
佐野市教育部生涯学習課
TEL 0283-20-3109
E-mail s-gakusyu@city.sano.lg.jp
- 葛生化石館に関して
佐野市教育部文化財課葛生化石館
TEL 0283-86-3332
E-mail kasekikan@city.sano.lg.jp

葛生文化センターの今後のあり方 Q&A



Q どんな検討をしているの？

A 様々な方向性のなかから、主に「2階解体、1階改修」または「建替」どちらがより良いのか検討しています。

老朽化が進んでいること、工事における確実な安全性の確保を踏まえ、必要な機能を見直したうえで、

既存施設を解体し新たな施設を建設する「建替」をすること

が適していると考え、現時点での優先的な方向性として整理をしました。

建替となった場合には、配置や動線を見直す等、最適なレイアウトとするとともに、化石館の展示室見直し、バックヤード機能を旧常盤小へ移転集約、野鳥等はく製展示室を継続しないこととする等、全体的にコンパクトで使いやすい施設とすることを検討しております。

Q 今後はどういう流れになるの？

A 今後の進め方につきましては、まず葛生地区町会役員や利用者団体等のほか、葛生地区の皆様の方々の多くの方々のご意見を踏まえたうえで、市として整備の取組方針を決定いたします。

その後、施設の設計、既存施設の解体、新築工事を順次進め、工事完了次第、新たな施設での葛生文化センターの開館を予定しております。

なお、施設配置やレイアウトなどの具体的な内容につきましては、設計の段階において適宜、利用者等の皆様と意見交換を重ねながら利用の実情に配慮した内容となるよう検討してまいります。